



# 2015年度 事業方針

代表取締役 執行役員社長  
**林 朝則**

2015年5月12日(火)  
**船井電機株式会社**

証券コード 6839

1. 2015年3月期(第63期)の実績
2. 2016年3月期(第64期)の計画
3. 今後の事業環境
4. 業界動向
5. 事業戦略
6. 新製品開発
7. 組織強化

# 1. 2015年3月期(第63期)の実績

(2015年3月30日発表)

	期初計画	直近予想	実績
売上高	2,000億円	2,030億円	2,170億円
営業利益 (営業利益率)	5億円 0.3%	0億円 0.0%	5億円 0.3%

## ポイント

- 中型TVから大型TV の転換が増収へ寄与
- AV事業(TV, DVD, Blu-ray)の黒字化達成
- 自社開発プリンター出荷開始

## 2. 2016年3月期(第64期)の計画

	2015年3月期	2016年3月期	前年比
売上高	2,170億円	2,200億円	+30億円
営業利益 (営業利益率)	5億円 0.3%	16億円 0.7%	+11億円

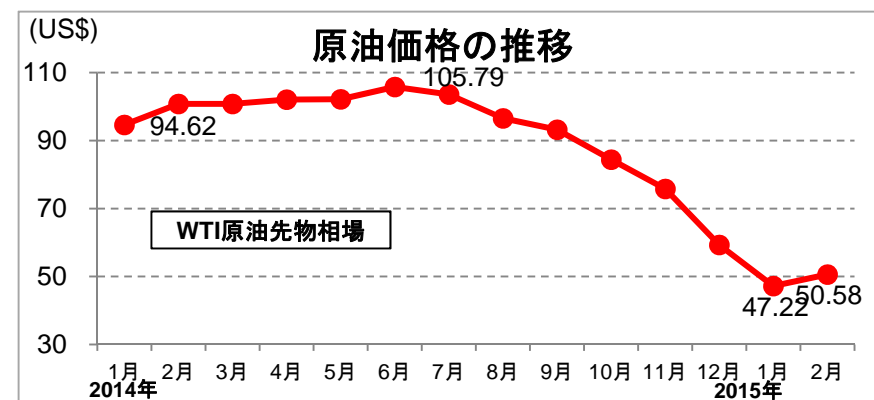
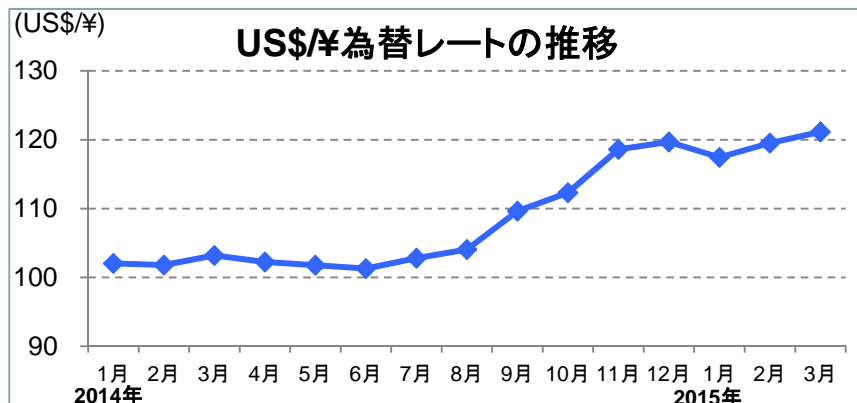
### ポイント

- 大型TVおよびBlu-rayプレーヤの4K対応による採算性向上
- 自社開発インクジェットプリンターの拡販の本格化/事業化
- インクジェット・プリンターのラインナップの充実

### 3. 今後の事業環境

#### 景気動向

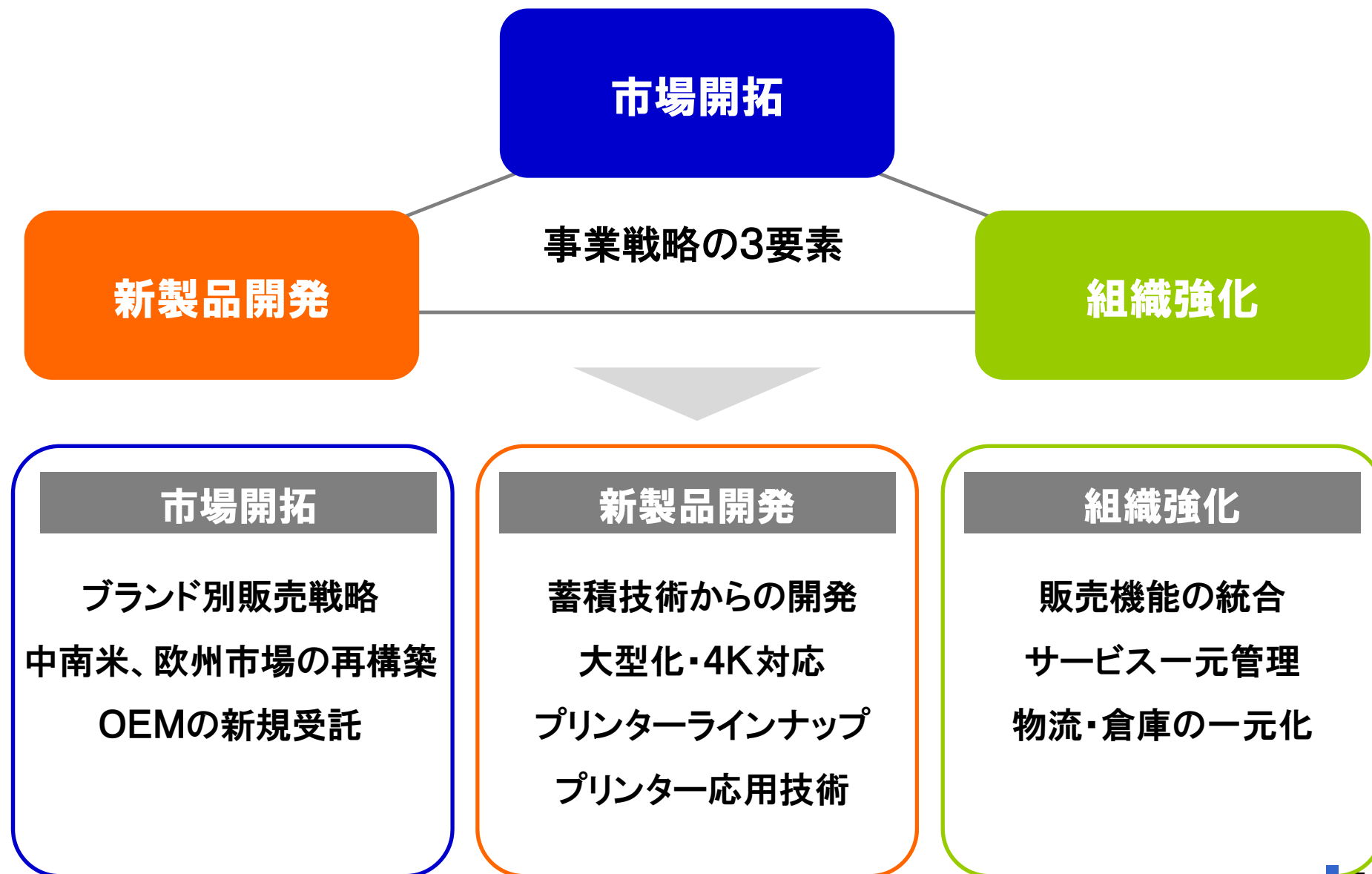
- **米 国** : 年明け以降、西海岸港湾の労働問題や寒波などの影響から鈍化がみられたものの、全般的には回復傾向。
- **欧 州** : ロシア経済の低迷やギリシャ債務危機再燃の影響があったもののドイツを中心に緩やかな回復基調。
- **中 国** : 住宅市場の悪化などから景気が減速。
- **日 本** : 消費税増税に伴う駆け込み需要の反動に加え、天候不順の影響景気回復ペースは緩慢な動き。



<b>テレビ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●大型好調。北米市場はブランドの二極化が加速</li><li>●中国メーカーによる攻勢が激化</li><li>●大型は4Kシフトの加速化</li></ul>
<b>デジタルメディア</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●ネット化の進展に伴い、DVD, Blu-ray市場の縮小が進む</li></ul>
<b>プリンター</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●先進国市場は成熟化。消耗品も低価格化の流れ</li><li>●新興国市場は消耗品のコピー品による価格低減リスク</li></ul>

既存事業の競争力を強化し、売上・利益を確保しながら、プリンター事業～新規事業へ







## 5-(3). 事業戦略 – ブランド



- SANYOブランドの本格販売
- PHILIPS / MAGNAVOXライセンス契約を2018年まで延長
- ブランド別販売戦略の整理

## 市場ニーズに対応した製品開発

### 高付加価値化

- 超大型TV(60インチ超)の投入
- 4K TVを早期開発

### ネットワーク対応

- ネットワークコンテンツ対応の強化
- スマートフォン、タブレットとの親和性UP

### グローバル対応

- 販売地域の嗜好に対応した仕様
- 新興国での地デジ化に対応



コスト競争力

## 6-(2). 新製品開発 – プリンター関連技術

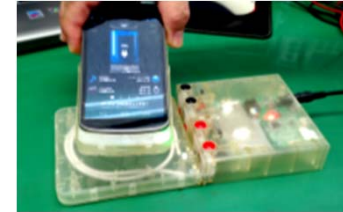
インクジェット技術を活用し、中長期の収益拡大もめざす



## 6-(3). 新製品開発 — 自社技術の新商品への展開

### 非接触給電

A4WPに参画  
高い伝送効率  
⇒設置自由度—離れた状態で充電



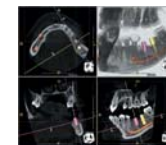
### 車載ディスプレイ

ISO TS16949(自動車)取得済み  
(2009年中国船井電機)



### ヘルスケア/医療分野

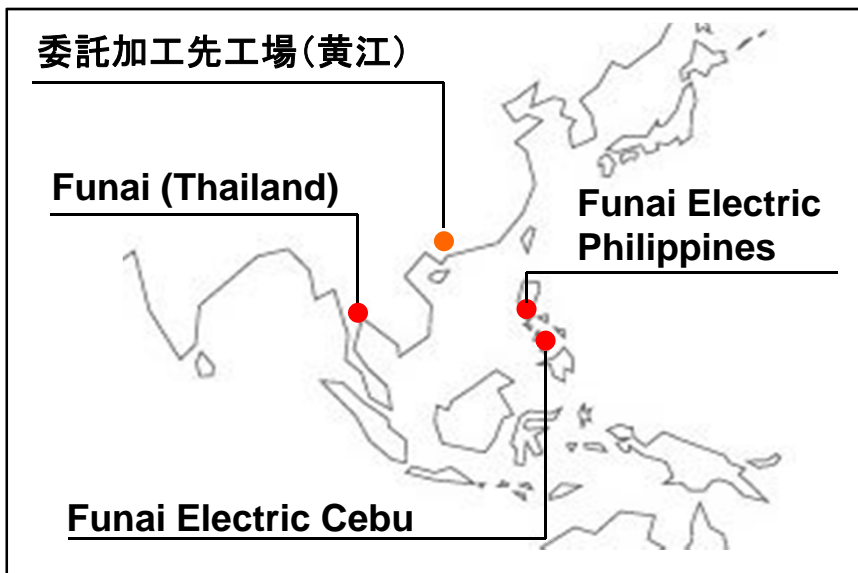
培った技術を活用  
パートナーとともに参入を検討



# 7. 組織強化

## 生産拠点

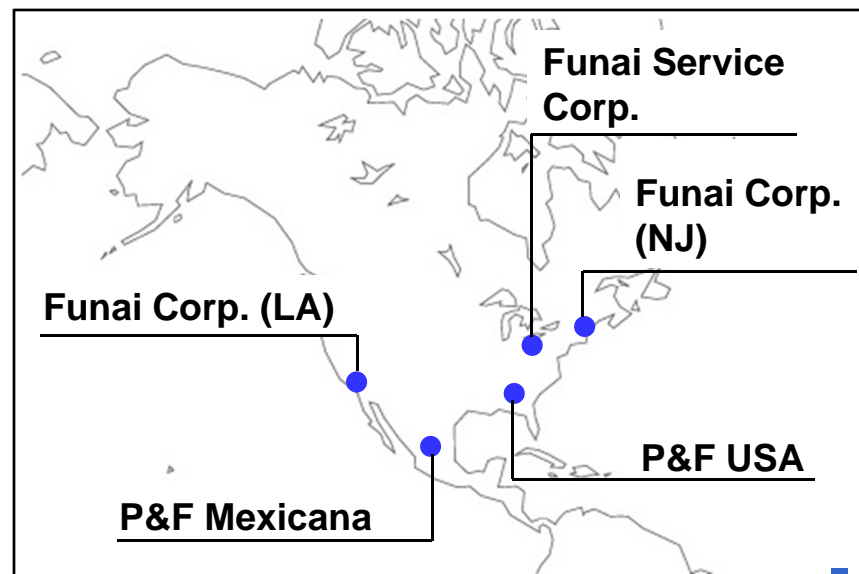
中国	黄江工場	TV・DVD プリンター
タイ	パクチョン工場	TV主力工場
フィリピン	セブ工場 リマ工場	カートリッジ プリンター



## 米州販売・サービス拠点

Funai Corp.	NJ/LA	販売
P&F USA	Atlanta	販売
Funai Service Corp.	Ohio	サービス

機能統合



本資料には、歴史的事実ではない将来の業績に関する予想及び見通しについての記載が含まれています。

これらの記載は、映像機器及び情報機器をはじめとする当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界動向、国内外の経済状況並びに為替レートの変動その他の業績に影響を与える可能性のある要因について、現時点で把握可能な情報をもとにした仮定及び見通しを前提としています。

したがって、実際の業績は、エレクトロニクス業界における競争状況、市場動向、為替動向、新製品の導入及びその成否、税制や諸制度に関する世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受け、本記載の予想及び見通しとは大きく異なる場合がありますのでご承知おきください。



**FUNAI**